



進路だより

令和6年1月 日発行 第2号
茨城県立常陸太田特別支援学校
進路指導部

今回の進路だよりでは、「職業準備性ピラミッド」について紹介します。

【職業準備性ピラミッド(図1)】

卒業後の安定した職業生活を送っていくために意識していくことができる5つの指標になります。
下層部が土台、上層部になるにつれて高度になります。引用：高齢・障害・求職雇用支援機構

図1：職業準備性ピラミッド

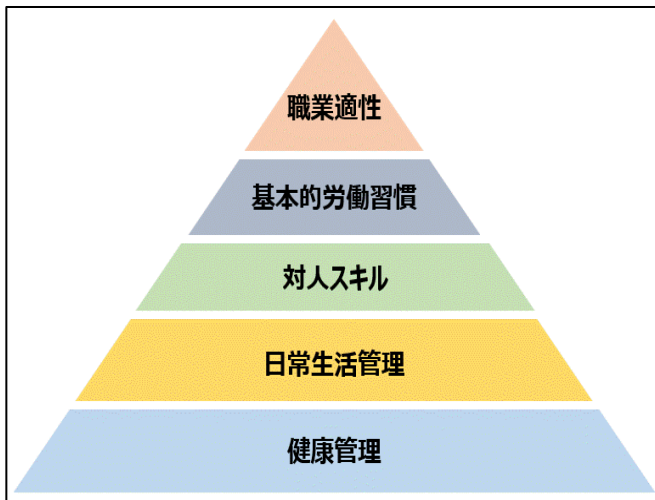


表1：職業準備性ピラミッド具体的な内容

職業適性	・就労能力の自覚 ・能率の向上 ・指示理解 ・作業速度 ・作業の正確性 ・作業環境の変化への対応
基本的労働習慣	・一般就労の意欲 ・持続力 ・働く場のルールの理解 ・危険への対処 ・欠勤時の連絡 ・作業意欲 ・作業態度 ・仕事の報告 ・出勤状況
対人スキル	・あいさつ ・言葉遣い ・共同作業 ・非言語的コミュニケーション ・感情のコントロール ・会話 ・協調性 ・意思表示
日常生活管理	・起床 ・金銭管理 ・身だしなみ ・生活リズム ・社会性
健康管理・ 病気の管理・ 体調管理	・食事 ・体調不良時の対処 ・自分の障害の理解や症状の理解 ・服薬管理 ・援助の要請

進路指導係より

今回は図の下の方、「健康管理」や「日常生活管理」に注目していただきたいと思います。

「健康管理」は、食事をバランスよく食べることや、薬を服用・管理できること、自分の体調や状態を知り、伝えられることなど、自分の健康状態を管理する力となります。

「日常生活管理」は、基本的な生活習慣が送れていること、金銭の管理ができること（買い物や余暇活動、公共機関、公共交通機関の利用など）、生活する中でのルールを守ることができること、身だしなみを整えられることなど社会に出て、生活するために必要な力になります。

上記の2点は、学校生活においても学習していく内容ですが、ご家庭で取り組める内容もあります。また、継続的に取り組み、できることが増えると、安定した職業生活を送るための土台がしっかりしてきます。日常生活の様々なことが将来につながっていることを意識して過ごしてほしいと思います。